

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2024年 4月2日(火)	市長公室 DX・行財政改革推進課	0796-21-9146 (内線 2041)	若森洋崇 (課長)

(件名)

「豊岡スマートコミュニティ推進機構」新体制に係る発表資料の配布

(内容)

4月1日に開催した「豊岡スマートコミュニティ推進機構」新体制についての記者発表資料を別紙のとおり配布します。

《問合せ》

市長公室 DX・行財政改革推進課

TEL0796-21-9146

「豊岡スマートコミュニティ推進機構」の新体制について

2020年5月に一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金と豊岡市が設立した豊岡スマートコミュニティ推進機構（TSC）は、2024年度からトヨタ・モビリティ基金の関与を残しつつ、地域主体の運営に移行する。2024年度は但馬信用金庫と豊岡市の2者が主体となって運営し、今後運営者を増やしていく。

1 目的

適切な技術（ICT、IoT、データ活用等）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築する。

2 概要

- (1) 名称 豊岡スマートコミュニティ推進機構（略称：TSC）
- (2) 運営主体 豊岡市、但馬信用金庫
- (3) 役員 代表理事 豊岡市長 関貫 久仁郎
理事 但馬信用金庫常務理事 宮垣 健生
株式会社 New Stories 代表 太田 直樹
豊岡市副市長 土生田 哉
監事 弁護士法人 生駒法律事務所 弁護士 野崎 奈央子

3 これまでの取組み

- (1) 福祉モビリティ：デイサービスセンターの送迎車を利用した移動サービスの試行
- (2) 交通安全：デジタルを活用した交通安全教室を小学校や地域コミュニティで実施
- (3) Toyooka iDO：子育てなど生活に便利な情報を入力・共有できる市民アプリの開発など

4 2024年度以降の新たな取組み

既存事業に加え、第5次豊岡市行財政改革大綱に定める「公共サービスの市民との共創」をめざし、市民のWill（この地域のために、これをやりたい）を支援するため、イベント（みんな×エール等）やWillを持つ人とそれを応援したい人等のコミュニティづくりなどを行う。

5 『みんな×エール』の開催について

- (1) 日 時 2024年4月20日(土) 午後2時～4時
- (2) 場 所 豊岡市役所 稽古堂3階
- (3) 内 容

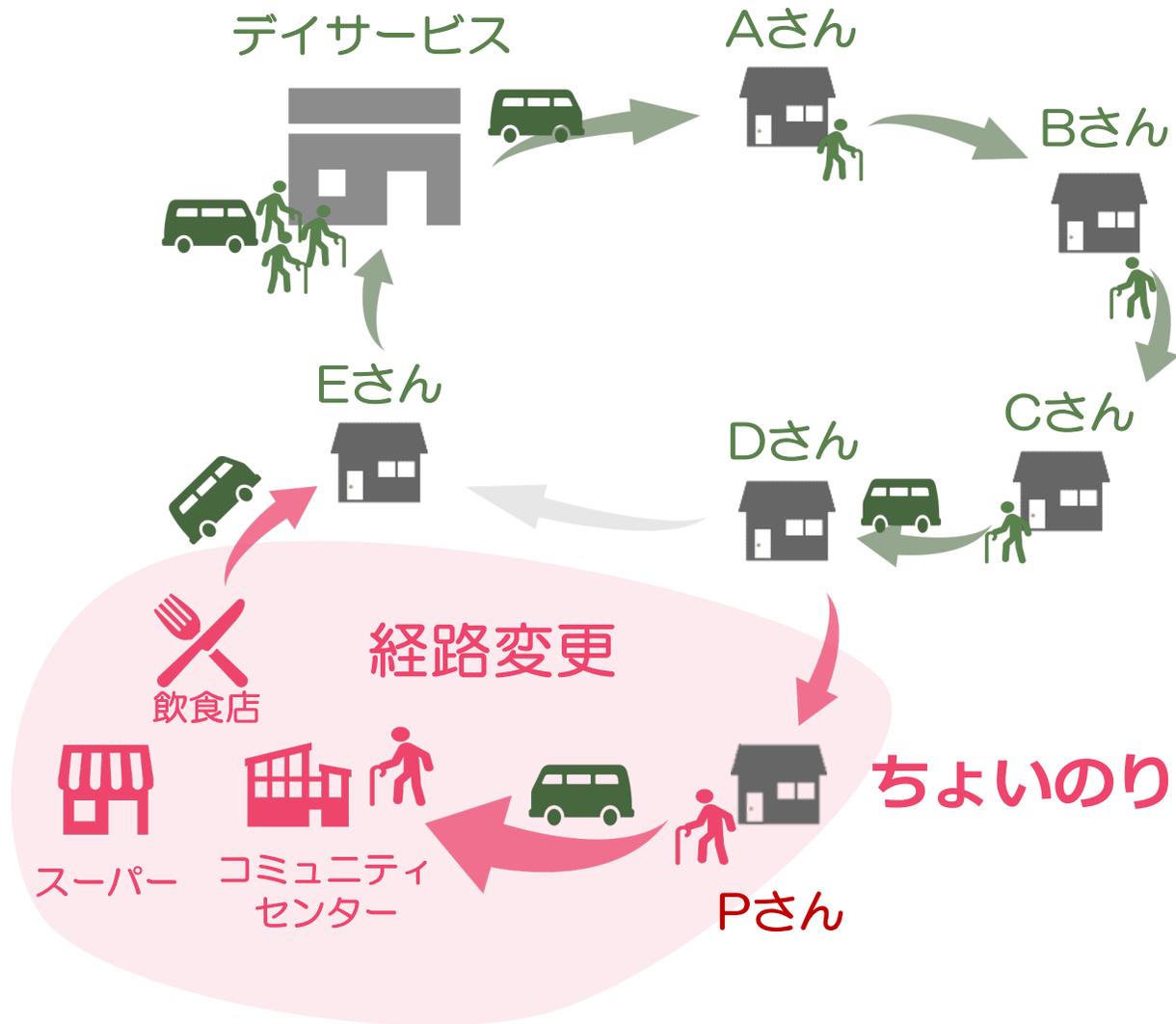


- (4) 参加費 無料
- (5) 対 象 まちづくりに関心がある方
- (6) 定 員 30人
- (7) 申込方法
豊岡スマートコミュニティ推進機構のホームページより申し込み
URL : <https://www.toyooka-smart-community.org/>
- (8) その他
(ア) 当日のプレゼンター、テーマ等の情報は、上記ホームページで随時公開
(イ) 『みんな×エール』は定期的な開催を予定



〔問合せ〕 市長公室 DX・行財政改革推進課 TEL0796-21-9146 (直通)

送迎の“ついで”に移動支援「ちょいのり」



「自家用有償旅客運送制度」

- 実施主体： 豊岡市
- 運送主体： アンドリハ
- 利用者： 通所施設の会員に限定
- 車両： 通所施設の送迎車
「白ナンバー」
- 運転手： 通所施設の職員
- 運送区域： 日高・神鍋区域に限定
- 予約方法： 事前に予約
- 利用料金： 500円/回

ちよい乗り実証実験拡大モデル：全体像

福祉デジタル送迎網

モビリティ カンパニー

- 車両運行
- 代理店
- マatching
- マネジメント



ちよい乗り



送迎業務受託
自家用有償
事業者から500円/回

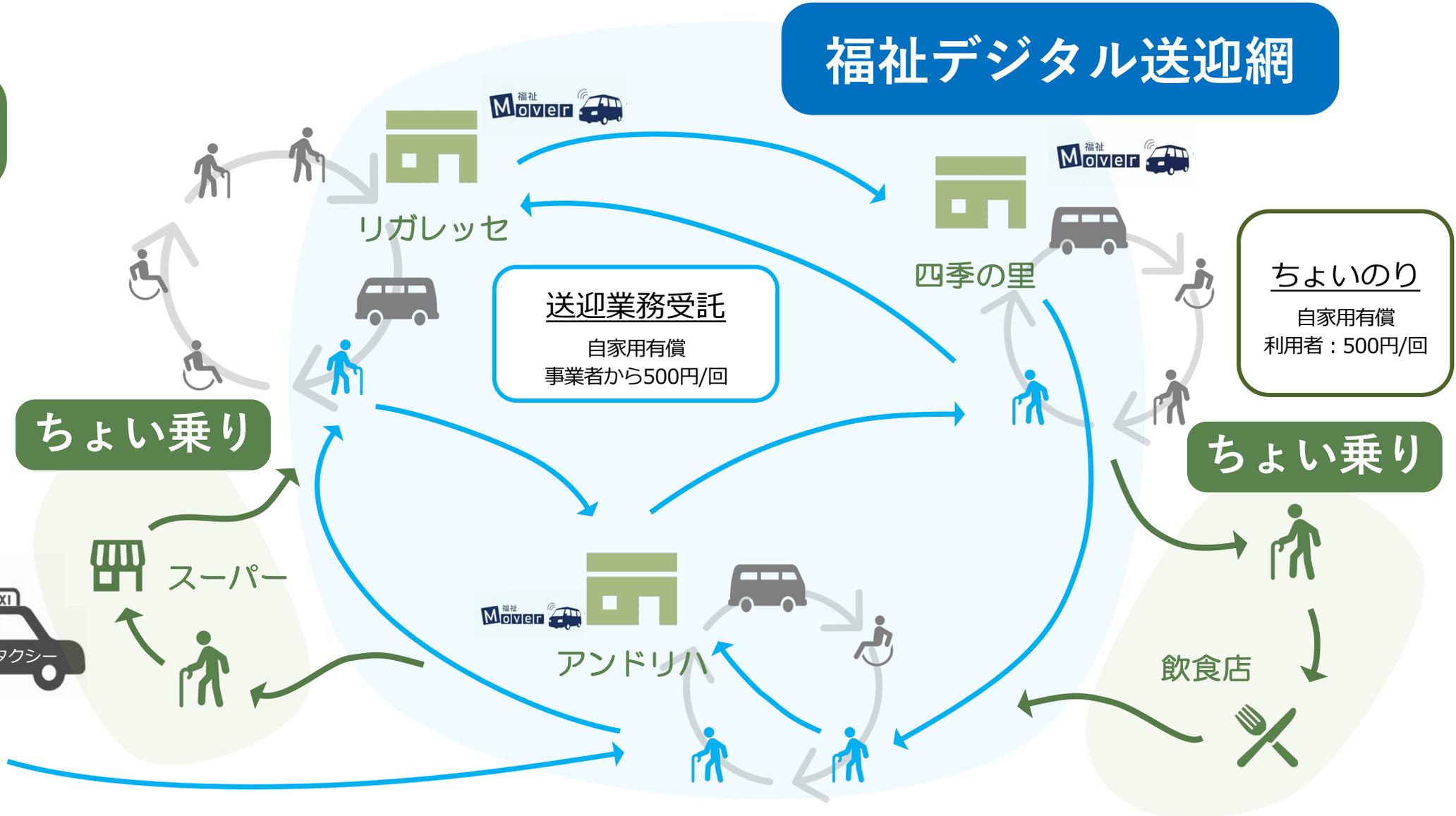
アンドリハ

四季の里

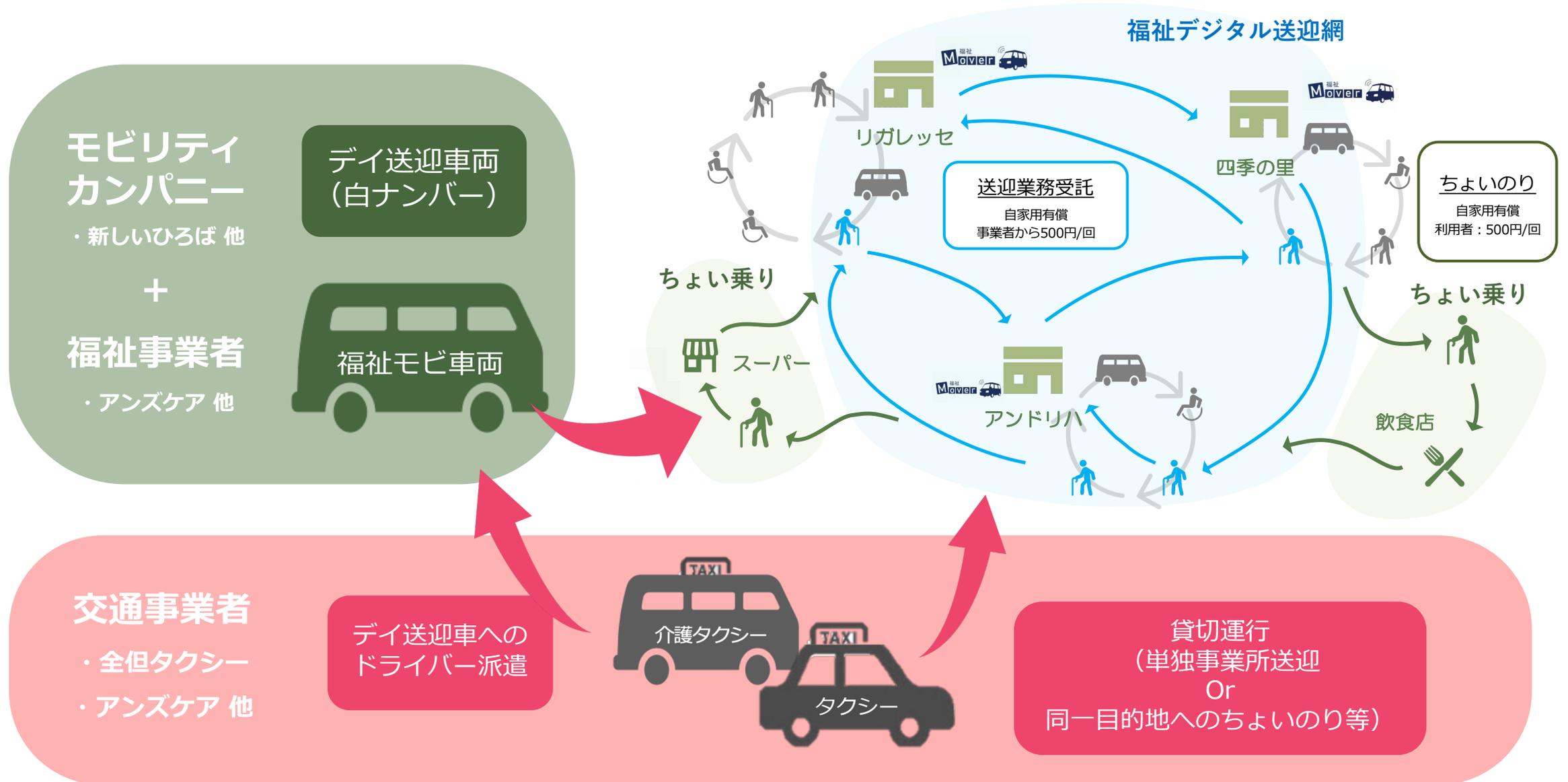
ちよい乗り

ちよいのり
自家用有償
利用者：500円/回

飲食店



ちよい乗り実証実験拡大モデル：参加事業者



ちよい乗り実証実験拡大で実証された効果

- 1** 介護サービスの地域格差解消 — — — — — 事業規模拡大によるスケールメリットでの効果増進が期待できる。
- 2** 福祉事業所の送迎業務負担軽減 — — — — — アンドリハ・四季の里で実務上での効果を確認できた。参画事業者拡大を見込む。
- 3** タクシー事業者の定量的売上確保 — — — — — 介護タクシー運転手派遣による効果は実証でき、タクシー事業者への送迎業務自体の委託も部分的に実証できた。
- 4** ちよいのり需要共有拡大 — — — — — 車両配備と提案型パッケージ運用により利用者数・成立率ともに増加した。
- 5** 他事業・他分野への活用の可能性 — — — — — 関係事業者との連携基盤は整いつつある。人材育成PJTでの取り組みもあわせて来年度から部分的に展開予定。

交通安全プロジェクトのめざす姿

1. 歩行者・自転車死亡事故ゼロ
2. 小学生のデジタルリテラシー向上
3. フラットでスマートにつながる

2023年度の実績

実施日	学校/地区	対象	人数
5月16日(火) 5月31日(水)	小学校	4~6 年生	53人
5月17日(水)	コミュニティ	高齢者	約30人
5月26日(月)	コミュニティ	高齢者	約60人
5月29日(木) 11月30日(木) 2月6日(火)	複数小学校 合同	4・5 年生	42人
10月6日(金)	小学校 コミュニティ 合同	3年生と 高齢者等	22人
10月18日(木)	小学校	5年生	76人
10月24日(火) 11月9日(木)	小学校	6年生	27人
12月13日(水)	コミュニティ	高齢者等	約30人
合計	6小学校、4地区		約340人



ヒヤリハットデータの例 (ミクロの視点)

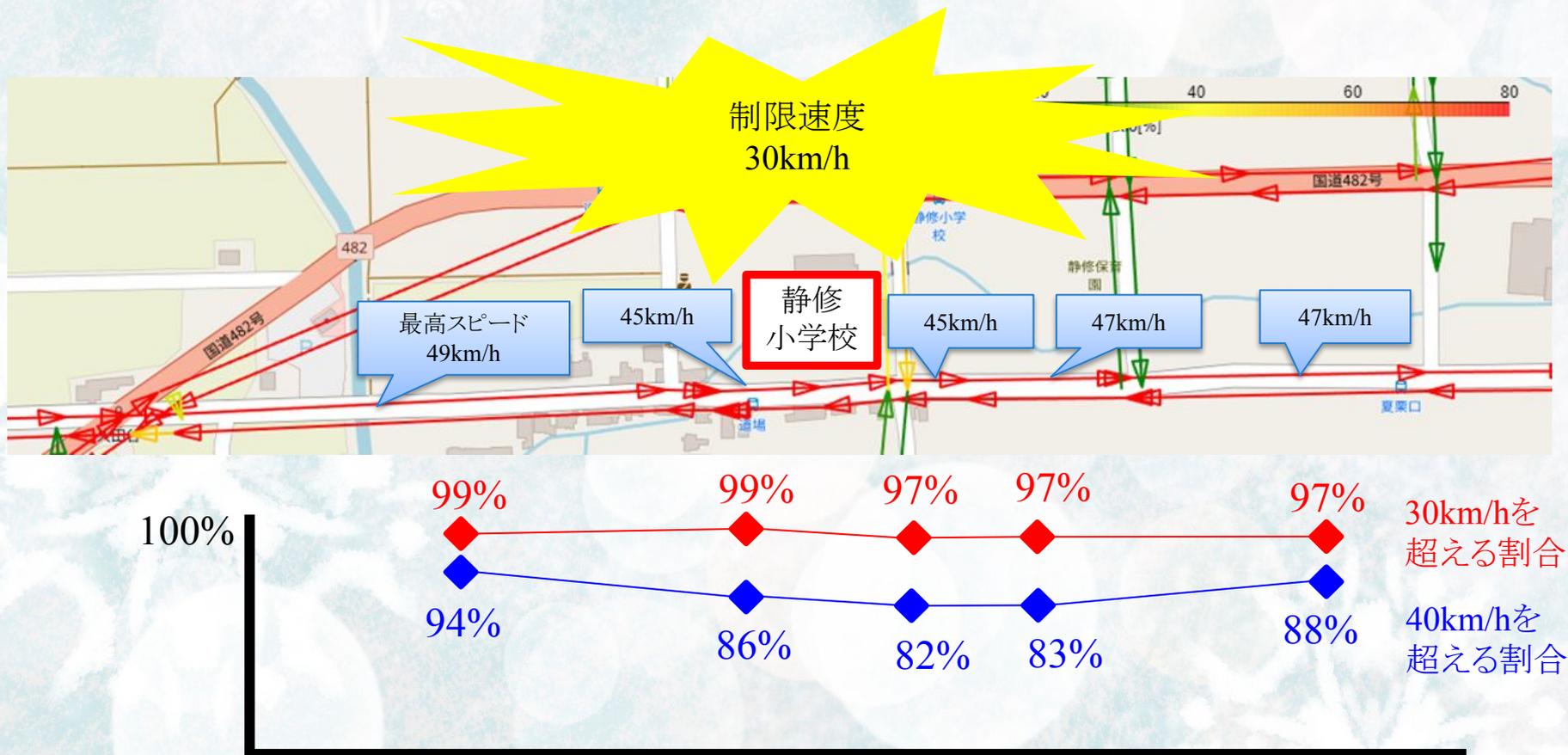
児童が入力したヒヤリハットデータ
日高小・静修小学校周辺



相手	報告内容詳細 (3-5行程度) 入力例: 道路を渡ろうとしたら、自転車が飛び出してきてぶつかりそうになった。	確認状況	移動手段	確認日時	場所区分	時間帯
普通車 (乗用車)	歩道に車が止まっていたので車の横を通ろうと思ったら急に動いてひかれそうになった。	未確認	徒歩		歩道	夕方の通学時間帯(午後3時~5時頃)
普通車 (乗用車)		未確認	徒歩		歩道	夕方の通学時間帯(午後3時~5時頃)
普通車 (乗用車)	歩道が狭くて自転車で走っていたら前から車が来てスレスレで危なかった	未確認	自転車		歩道	夕方の通学時間帯(午後3時~5時頃)
その他		未確認	徒歩		その他	昼 (午前8時~午後2時59分)

ビッグデータの活用例 (マクロの視点)

データを見てみよう 静修小学校周辺



子育てなどに便利な市民向けアプリ「iDO」を開発、運用を開始

～ハッカソンをきっかけに市民・行政・企業が共創～

豊岡スマートコミュニティ推進機構（※1）は、豊岡での生活を便利にする情報をみんなで入力し、共有できるアプリ「iDO」（アイドゥ）の提供を開始する。

このアプリは昨年3月に実施した「豊岡市・地方都市の暮らしハッカソン（※2）」がきっかけとなり、市内外のエンジニア、デザイナー、市民等が連携し開発を進めており、今後も引き続きアプリで扱う情報の拡充や機能の改良を進める。

※1 豊岡スマートコミュニティ推進機構

豊岡市と一般財団法人トヨタ・モビリティ基金が共同で設立した団体。テクノロジーをうまく使って、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合うスマートコミュニティを目指している。

※2 ハッカソン

ハック(コンピューターのプログラムを書く)とマラソンを掛け合わせた造語。プログラマーや設計者などがソフトウェア開発を短期間で行うイベント。

1 市民向けアプリ「iDO」の内容

(1) アプリの機能

市内で子どもが楽しめる公園の場所や、おむつ替えができる施設の情報、市内のイベント予定など、子育てに役立つ情報を入力し他者と共有することができる。

(2) 提供開始日

2024年3月20日(水)

(3) 利用料

無料

(4) アプリ URL

<https://toyooka.adalo.com/ido>

※利用時はアプリ内の免責事項への合意が必要です。

二次元コード



(5) その他

今後は、扱う情報の拡充や機能の改良とともに、子育て以外の分野にも広げ、他の民間サービスとの連携を行うことも検討していく。

「子育て」に特化した
内容で運用開始！

将来的には
ほかの分野へ展開

観光

福祉

防災

「子育てに役立つ情報がほしい」

「子育てに役立つ情報がほしい」

- 便利な情報を増やそう -
ユーザー向けイベントも開催！

わたしが行動する
きっかになるアプリ

みんなの知っている便利な情報を入力できるアプリ



「iDO」の操作画面（施設やイベントの情報が地図やカレンダー上で閲覧できる）

〔問合せ〕 DX 推進部 DX・行財政改革推進課 TEL0796-21-9146（直通）